

第13回全日本中学生男女ソフトボール大会に協賛

記録的な猛暑が続く中、8月13日～15日に大阪市舞州（まいしま）運動広場で開催された「第13回全日本中学生男女ソフトボール大会」に協賛出展しました。

開会式では、地方大会を勝ち抜いた女子49チーム、男子15チームの選手たちやご家族・関係者の皆様を前に、全国餅工業協同組合からの告知の機会を頂きました。

司会者から、「10月10日はおもちの日と制定され、国内産水稲もち米100%で作られている包装餅の需要拡大キャンペーンが行われていること」、そして「おもちには運動時のエネルギー源になる炭水化物がたっぷり含まれていること」などを紹介して頂きました。



また、会場内に全国餅工業協同組合の特設テントブースを設け、出場校の選手全員へ切り餅セットをプレゼント。

さらに、全国各地から応援に駆けつけた方々へ切り餅セットやチラシ、特製うちわなどのサンプリングを行い、普及拡大活動を行いました。



選手たちにおもちの印象を聞いてみると・・・

「おもちはいつもよく食べるよ」「練習前の朝ごはんに、おもちを4～5個食べると空腹を抑えられる」「さっと、食べやすいから好き」など、予想以上に大好評。女子選手からは「おやつの時、スイーツ代わりにおもちをたべます」という声も聞かれました。

やはり、普段から身体を動かすスポーツ選手にとって、おもちは栄養補給にぴったりの食べ物なんですね！

